

Adobe GEP QUANTUM

サプライヤー向けクイックリファレンスガイド (QRG)

Adobe

GEP Quantumには (<https://idplogin.gep.com/>) を使用してアクセスし、資格情報でログインできます。

GEP Quantumにログイン

1. 登録メールに記載された**GEP Quantum** ログインリンクにアクセスします。
2. 登録済みのユーザー名を入力し、「**次へ**」をクリックします。
3. パスワードを入力し、「**ログイン**」をクリックします。
4. サプライヤーランディングページが表示されます。ここはサプライヤー活動の中心となるハブです。

パスワードを忘れた場合

1. ログイン画面で「**パスワードを忘れた場合**」をクリックします。
2. 登録済みのメールアドレスまたはユーザー名を入力します。
3. 「**送信**」をクリックします。
4. 受信トレイでパスワードリセットリンクを確認します。
5. 求められた場合は、多要素認証を完了します。

ユーザー名を忘れた場合

1. ログイン画面で「**ユーザー名を忘れた場合**」をクリックします。
2. 登録済みのメールアドレスを入力します。
3. 「**送信**」をクリックします。
4. ユーザー名取得用のメールが届いているか、受信トレイと迷惑メールフォルダを確認してください。

ITセットアップ のコールアウト

必要なITセットアップ：@**gep.com** ドメインを許可してリストに追加するよう、ITチームに依頼してください。ほとんどの通知はアドビ/GEPのメールアドレスから送信されます。必要な送信者アドレスを信頼済みとしてマークし、オンボーディング、調達、リスク、契約に関する通知や質問の見落としを防ぎます。

サプライヤーランディングページは、すべての活動の中心となるダッシュボードです。アドビとの連携に役立つツールを、明確で整理されたビューで表示します。




サプライヤーランディングページ — 主要領域

領域	どうすべきか
クライアントリスト:	アドビなどのクライアントプロファイルを切り替えて、調達、契約、リスク、その他の活動を管理します。
マイタスク	オンボーディング承認、プロファイル変更、リスクフォームなど、保留中のアクションを表示します。
プロファイルの確認:	住所と税務情報、銀行情報、その他のドキュメントなど、クライアント固有のプロファイルの詳細を確認します。
公開プロファイル:	名前、住所、認証、ダイバーシティの詳細など、購入者に表示される会社情報を確認します。
関係性の概要:	調達、契約、リスク、サプライヤー管理に関する活動が表示されます。
ヘルプ	FAQ、プラットフォームガイド、サポートオプションにアクセスします。
ログアウト	セッションを安全に終了します。

マイタスク

1. 「**すべてのタスクを表示**」または「**マイタスク**」をクリックして、保留中の項目を表示します。
2. ドキュメント名、番号、種類、ステータス、保留日数を確認します。
3. ドキュメント名のハイパーリンクをクリックして、タスクを開きます。
4. サプライヤーオンボーディング承認、プロファイル変更リクエスト、税務情報の更新、銀行情報の更新など、保留中の処理を完了します。

以下は、GEP Quantumで使用するモジュール（調達、契約、リスク）と機能の概要です。詳しくは、使用する機能名をクリックしてください。

 調達		 契約		 リスク	
機能	用途	機能	用途	機能	用途
RFx	提案依頼（RFP）、見積依頼（RFQ）などを含む調達イベントに参加します。サプライヤーは、調達モジュールのこの領域で、参加を依頼され、回答を送信します。	契約レビュー	アドビが共有した契約ドキュメントを確認し、必要な入力を行い、プラットフォーム内で契約書の確認、修正、署名などのアクションを実行します。	契約/プロジェクトリスクフォームの入力	リスクフォームへの入力、裏付けドキュメントの提供、フォローアップの質問への対応を、アドビのリスクレビュープロセスの一環として行います。このプロセスは、現在、サプライヤーオンボーディングレベルではなく、アドビと締結されるすべての契約に適用されます。
オークション	競争形式のリアルタイム入札プロセスに参加します。通常、サプライヤーはオークションが公開され、要件に対する入札の送信と競争への参加依頼を受け取った後にのみ関与します。	契約署名	契約に署名します。契約の署名準備が完了し、確認とアクションが必要になると、ユーザーに通知されます。		

アドビは、サプライヤーを特定および評価するためにRFxイベント（RFP、RFQ、RFI）を利用する場合があります。通常、サプライヤーはRFxが公開された後にのみ関与し、その時点でイベントの種類に応じて参加と回答の送信を依頼されます。

手順1：アドビがRFxを公開

アドビがリクエストを公開します。サプライヤーは、ホームページの「**関係性の概要**」セクションでRFxイベントを確認できます。

手順2：ガイドラインを承諾し、参加を確認

サプライヤーは、「**承諾待ちのガイドライン**」セクションでガイドラインを承諾し、RFx イベントへの参加を確認します。

手順3（任意）：ディスカッションフォーラムから質問を送信

サプライヤーに質問がある場合は、ディスカッションフォーラム機能を使用して、説明を求める質問をアドビに送信できます。回答はディスカッションフォーラムで再公開されます。RFx イベントで「**ディスカッションフォーラム**」ボタンをクリックして、ディスカッションフォーラムに移動します。

手順4：回答を入力

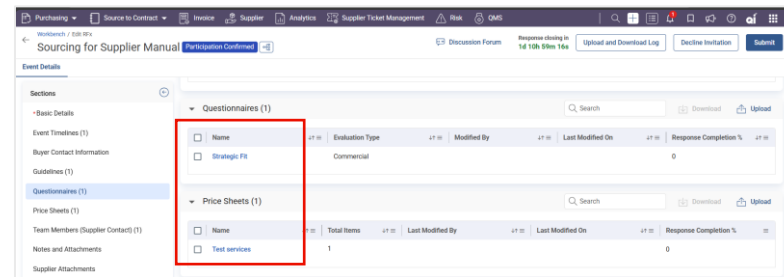
サプライヤーは、「**質問票**」セクションで質問票に回答し、「**価格表**」回答入力欄で価格表に回答して、回答を送信できます。

手順5：評価と交渉

アドビは送信内容を確認し、評価、交渉の会話、最終決定について連絡します。



スクリーンショット1：「承諾待ちのガイドライン」セクション（手順2）



スクリーンショット2：「質問票と価格表」セクション（手順4）

■ サプライヤーのアクション手順

■ アドビのアクション手順

アドビは、オークションを実施する場合があります。この場合、サプライヤーは競争形式のリアルタイム入札プロセスへの参加を依頼されます。

手順1: アドビがオークションを公開

サプライヤーに、参加を依頼する通知が届きます。サプライヤーは、「**関係性の概要**」セクションまたは「**マイタスク**」セクションで通知を確認できます。

手順2: ガイドラインを確認し、参加を確認

サプライヤーは、続行するためにオークションガイドラインを確認し、GEP QUANTUMで参加を確認します。サプライヤーは、「**オークション**」イベントで「**確認**」セクションを確認できます。

手順3: ディスカッションフォーラムから質問を送信

サプライヤーがアドビに対して質問がある場合は、GEP QUANTUMのディスカッションフォーラムを使用して、アドビに問い合わせを送信できます。回答はディスカッションフォーラムで再公開されます。**RFx**イベントで「**ディスカッションフォーラム**」ボタンをクリックして、ディスカッションフォーラムに移動します。

手順4: ライブオークション時に入札

サプライヤーは、ライブオークション期間中に「**ロット**」セクションで入札を入力して送信します。説明依頼があった点については、入札開始前に回答されます。

手順5: 評価と落札

アドビはすべての送信内容を確認し、結果を連絡します。

Acknowledgement(s)			
Acknowledgement Required		Other	
<input checked="" type="checkbox"/>	Document Name	Document Status	Timestamp
<input checked="" type="checkbox"/>	NDA	Pending	

スクリーンショット1: 「確認」セクション (手順2)

Lots (1)			
Lot Name	Lot Status	Line Items	Bidding Level
Test lot for user guide	Live	1	Line

スクリーンショット2: 「ロット」セクション (手順3)

サプライヤーのアクション手順

アドビのアクション手順

契約レビューリクエストでは、サプライヤーがアドビから共有された契約ドキュメントを確認し、必要な情報を入力し、プラットフォーム内で契約書の確認、修正、署名などのアクションを実行できます。これにより、契約プロセス全体を通じて、タイムリーな連携、明確な可視性、コンプライアンスを確保できます。

手順1: アドビが確認用に契約書を送信

アドビはGEP QUANTUMを通じてサプライヤーに契約書を送信します。サプライヤーは、「**関係性の概要**」セクションまたは「**マイタスク**」セクションでそれらを確認できます。

注意: 該当するすべてのリスクフォームと管理フォームは、契約書の送信前に入力されている必要があります。

手順2: 契約書を受信

サプライヤーはGEP QUANTUMで契約書を受け取ります。サプライヤーは、GEPプラットフォーム内でオンラインで確認するか、ダウンロードしてオフラインで確認できます。サプライヤーは、「**契約文言**」セクションで契約を確認できます。

手順3: 契約書を確認して修正

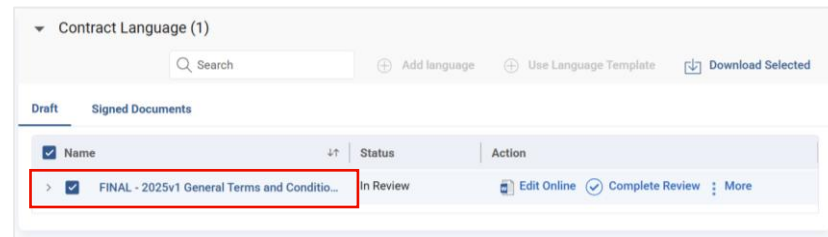
サプライヤーが契約文言を確認します。変更が必要な場合は、オフラインまたはGEP QUANTUM内で直接契約書を修正して、修正版を送信できます。サプライヤーは、「**契約文言**」セクションで契約を確認できます。

手順4: 修正版の契約書を送信

確認後、**サプライヤー**は修正済みの契約書を検討用として、GEP QUANTUMを通じてアドビに送信します。「**レビューを完了**」ボタンをクリックしてレビューを終了します。

手順5: アドビ社内レビュープロセス

アドビは、サプライヤーの修正版の契約書を社内でレビューします。契約書が確定する前に、さらなる交渉や承認が必要となる場合があります。



スクリーンショット1: 「契約文言」セクション (手順2と3)

サプライヤーのアクション手順

アドビのアクション手順

契約書署名リクエストでは、契約書が署名可能な状態になり、確認とアクションが必要であることが通知されます。リクエストにアクセスして最終版の契約ドキュメントを確認し、署名プロセスを完了します。

手順1：アドビが署名用に契約書を送信

契約書が確定すると、**アドビ**はGEP QUANTUMを通じて、署名用にサプライヤーへ送信します。サプライヤーは、「**関係性の概要**」セクションまたは「**マイタスク**」セクションでそれらを確認できます。

手順2：契約書を受信

サプライヤーはGEP QUANTUMで契約書を受け取ります。サプライヤーは、Adobe Signを使用してオンラインで署名するか、契約書をダウンロードしてオフラインで署名できます。サプライヤーは、メールで送信されたリンクから契約書にアクセスすることもできます。

手順3：契約書に署名

オンラインで署名する場合、**サプライヤー**はAdobe Signリンクをクリックし、条件に同意して、署名プレースホルダーを使用して署名を完了します。オフラインで署名する場合は、ダウンロードして署名し、署名済みドキュメントを返送します。

手順4：署名済み契約書を送信

サプライヤーはGEP QUANTUMを通じて、署名済み契約書をアドビに返送します。注意：契約後リスクフォームがプロセスの一環としてトリガーされる場合があります。

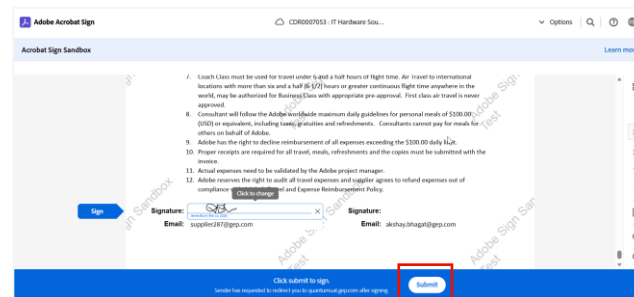
署名プロセスを完了するには、「**送信**」ボタンをクリックします。

手順5：最終署名

アドビが最終的な副署を完了し、契約書を完全に締結します。契約が完全に締結されると、両当事者に確認通知が送付されます。



スクリーンショット1：契約書署名メール（手順2）



スクリーンショット2：契約書内の「送信」ボタン（手順4）

■ サプライヤーのアクション手順

■ アドビのアクション手順

GEPのリスクモジュールでは、アドビのサプライヤーリスク管理プロセスがサポートされ、サプライヤーがリスク関連リクエストに対応できます。リスク評価は現在、すべてのプロジェクト／契約に対して実施されています。フォームは、特定の契約の文脈を念頭に置いて入力する必要があります。これは、リスク評価がサプライヤーレベルで実施されていたGraphiteConnectプロセスからの変更点です。サプライヤーは、このモジュールを通じて、アドビのリスクレビュープロセスの一環として、リスクフォームの入力、裏付けドキュメントの提供、フォローアップの質問への対応を行うことができます。

手順1：リスクフォームの自動トリガー

アドビのシステムは、調達プロセスまたは契約プロセスの一環として、1つ以上のリスクフォームと管理フォームを自動的にトリガーします。サプライヤーはこれらのフォームをGEP QUANTUMで受信します。サプライヤーは、「**関係性の概要**」セクションまたは「**マイタスク**」セクションでそれらを確認できます。

手順2：通知を受信してフォームを確認

サプライヤーには、リスク評価フォームが割り当てられたことが通知されます。フォームに初めてアクセスする際は、説明をよく確認し、(i) アイコンを使用して質問レベルのガイダンスを参照してください。サプライヤーは、**リスクワークベンチ**の**開始済み**ステータスカードでこれらを確認できます。

手順3：入力して送信

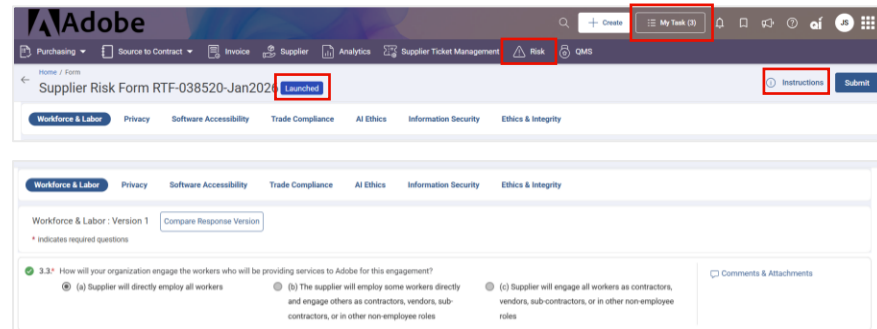
サプライヤーは、各フォームのすべての必須フィールドを入力し、GEP QUANTUMを通じて送信します。次の段階に進むには、該当するすべての評価を完了する必要があります。

手順4：評価

送信されたフォームをアドビがレビューします。リスク管理が「弱」と判断された場合、追加のレビューと是正措置を求めるリスクチケットが自動的に作成されることがあります。

手順5：リスクチケットを入力して送信

リスクチケットが発行された場合、**サプライヤー**はそのチケットを受信し、割り当てられた是正マイルストーンを完了する必要があります。アドビは、解決に至るまで、必要に応じてエスカレーションを管理します。



スクリーンショット：リスクフォーム（サプライヤーの送信用に開始された時点）

■ サプライヤーのアクション手順

■ アドビのアクション手順

Adobe

問い合わせ先 — クイックガイド

サポートが必要な内容	連絡先
ログインの問題またはGEPへのアクセスに関する問題	GEPサポート： support@gep.com
一般的な調達に関する質問	アドビ調達部門： purchase@adobe.com
オンボーディングに関する質問またはサプライヤープロファイルのサポート	アドビ調達部門： purchase@adobe.com
調達イベントまたはRFxへの参加	担当のアドビサプライヤーマネージャー
セキュリティまたはプライバシーインシデントの報告	アドビセキュリティ： ACDC@adobe.com

セルフサービスリソース

FAQセクション — プラットフォーム内

- サプライヤーランディングページに移動してください。
- ヘルプセンターをクリックしてください。
- [FAQリンク](#)を選択してください。
- オンボーディング、調達イベント、ドキュメント交換、コンプライアンスに関する回答を確認してください。

YouTubeクイックスタートガイド

- GEP Quantumポータル：[サプライヤー向けクイックスタートガイド](#)の動画を視聴してください。
- サプライヤーランディングページの右下隅からガイドにアクセスしてください。
- このガイドを使用して、プラットフォームの機能、主要な機能、および画面の手順を把握してください。

言語翻訳

- 利用可能な場合は、プラットフォームの言語オプションを使用してください。
- ご希望の言語を選択して、アクセシビリティを改善してください。
- サプライヤーポータルとユーザーマニュアル
- アドビサプライヤーポータルを開きます。
- プロファイルの更新、オンボーディングフォーム、プラットフォームナビゲーションのサポートについては、ユーザーマニュアルを参照してください。